

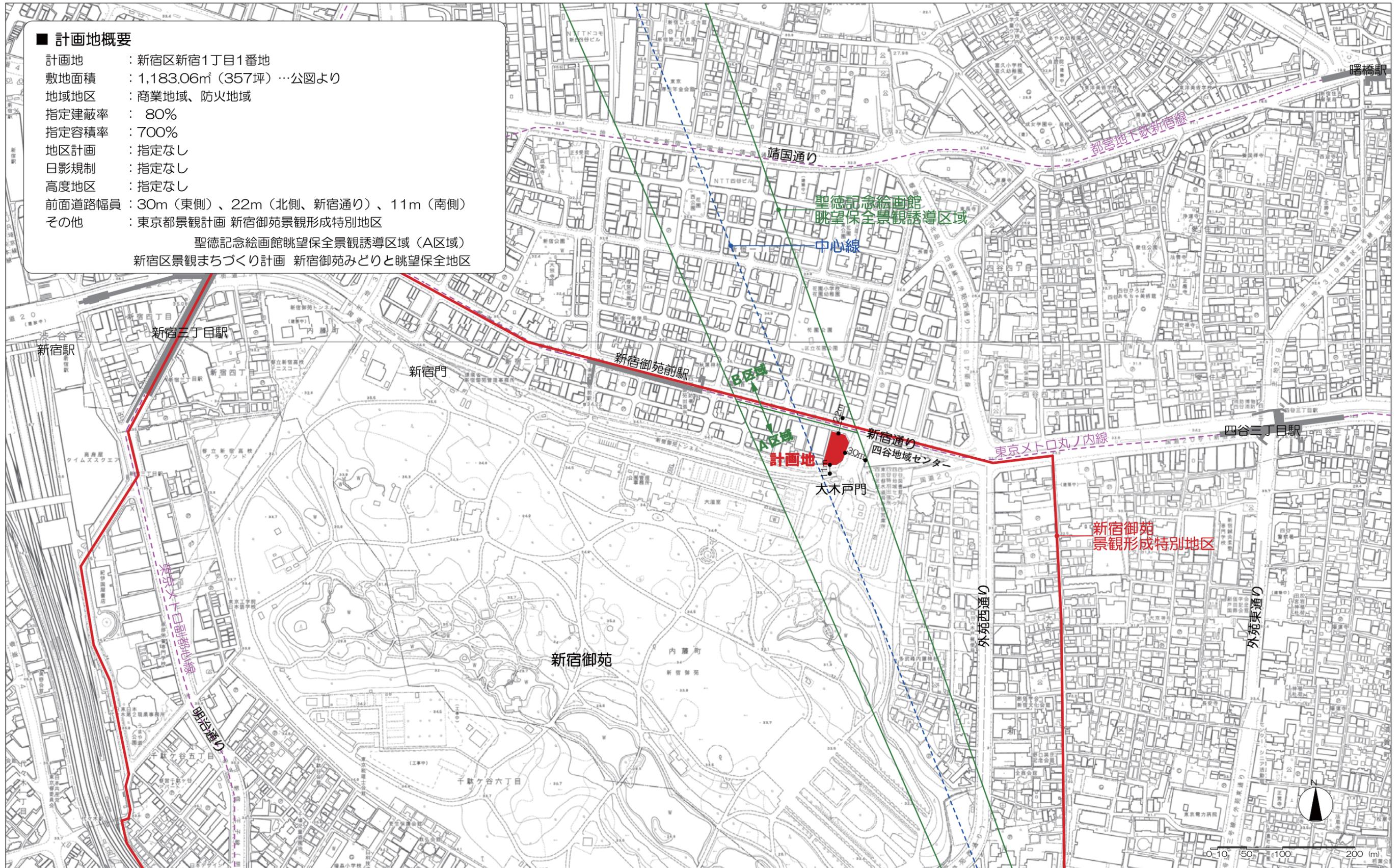
(仮称)新宿一丁目計画

01 計画地概要	P1
02 周辺状況	P2-P6
03 景観特性	P7-P8
04 上位計画	P9
05 計画概要	P10
06 景観形成の基本方針	P11-P17
07 事前相談・事前説明・追加検討事項	P18-P24
08 眺望地点等からの見え方	P25-P27

■ 計画地概要

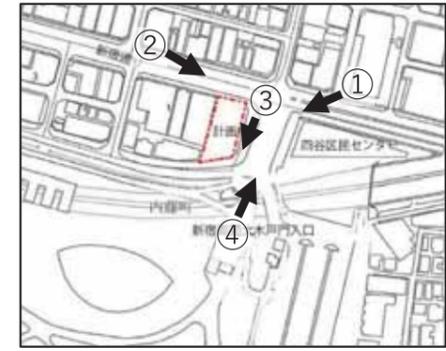
- 計画地 : 新宿区新宿1丁目1番地
- 敷地面積 : 1,183.06㎡ (357坪) …公図より
- 地域地区 : 商業地域、防火地域
- 指定建蔽率 : 80%
- 指定容積率 : 700%
- 地区計画 : 指定なし
- 日影規制 : 指定なし
- 高度地区 : 指定なし
- 前面道路幅員 : 30m (東側)、22m (北側、新宿通り)、11m (南側)
- その他 : 東京都景観計画 新宿御苑景観形成特別地区

聖徳記念絵画館眺望保全景観誘導区域 (A区域)
 新宿区景観まちづくり計画 新宿御苑みどりと眺望保全地区



* 計画に際して敷地面積は公図を基に、敷地形状は白地図を基に計画しています。実際の計画においては敷地の実測、レベルの測定等が必要です。
 * 計画に際して役所等の関係官庁との打合せは行っておりません。計画の実施に際しては、関係官庁との協議が必要です。

案内図 (S.1:5,000)



①



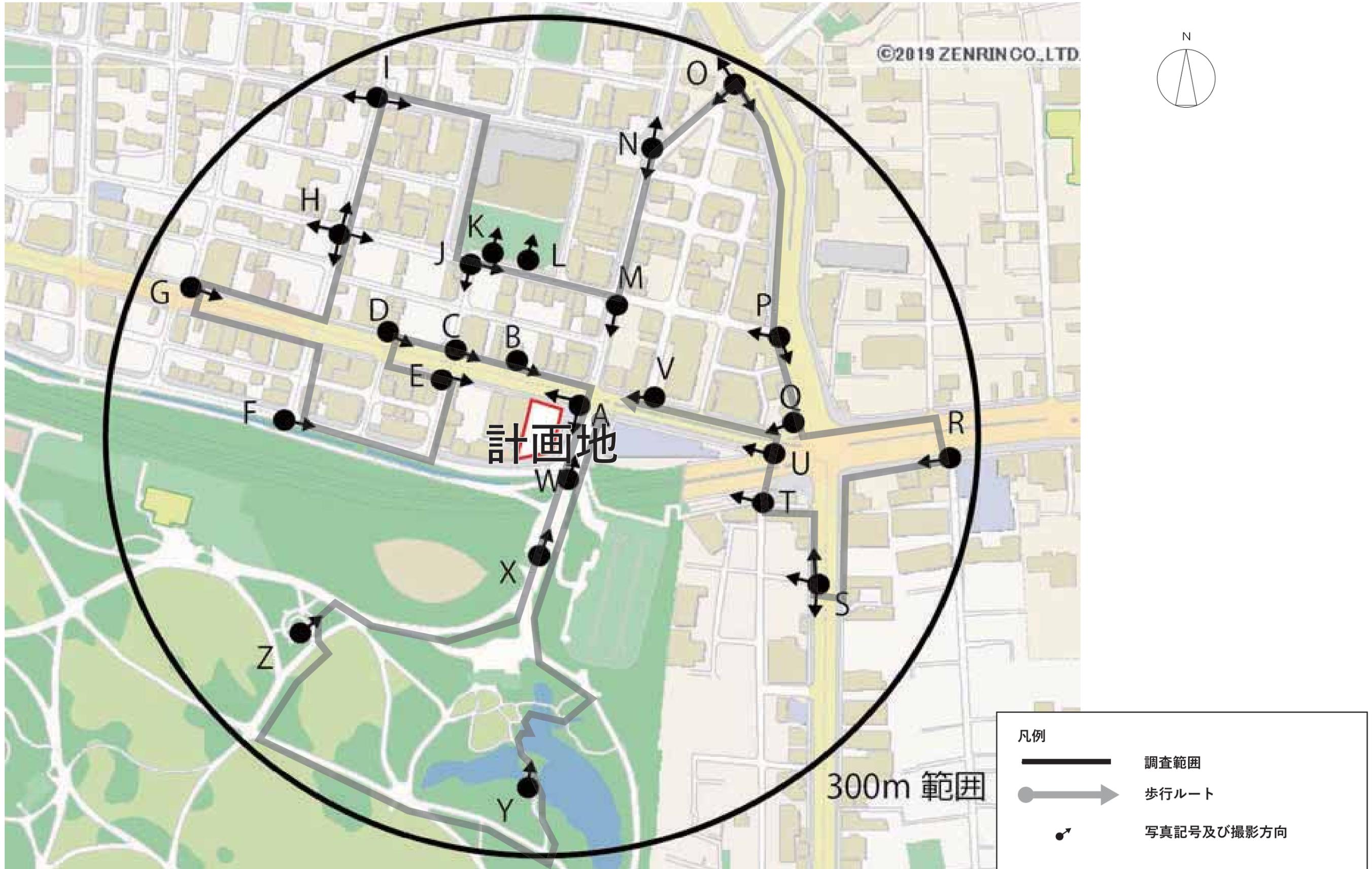
②



③



④



A 西



B



C



D



E



G



Q



R



U



V



新宿通り沿い

四谷方面から新宿駅前へ入る幹線道路である。沿道には高さ 31m 程度の高層建物が多く、壁面線が揃った整然とした街並みとなっている。一方で街路樹以外のみどりは少なく、裏側の市街地や新宿御苑の気配を感じられない。

A 南



W



X



新宿御苑大木戸門入口付近

新宿御苑と市街地の接点であり、御苑内部からは高層建物、市街地からは御苑のみどりがアイストップとなっている。

H 西



I 東



M



H 南



I 西



N 北



H 北



J 南



N 南



H 東



J 東



計画地北側の市街地

約8m幅の道路沿いに高さ20～30mの中低層の集合住宅や住商併用建物が混在している地域である。道路基盤は比較的直線で統一されているが、建物の用途が混在しているため形態・意匠は異なる。

Y



新宿御苑玉藻池地点
玉藻池南側の築山からは大木戸休憩所越しに新宿通り沿いの高層建物群が見える。なお、大木戸休憩所は池に面している。

Z



新宿御苑北側地点
御苑内部の広場からは、豊富な樹木で建物群は見えない地点が多いが、一部樹木が少なくなる園路からは建物が見える。

P 西



O 西



P 南



S 南



O 南



S 北



O 北



外苑西通り沿い

北から南へ蛇行しながら緩やかに下る幹線道路沿いに高層建物が並ぶため、接続する裏側の市街地の気配はあまり感じられない。

K



L



計画地北側の公園・小学校

細分化された中低層建物が多い地域で花園公園の貴重なみどりと花園小学校の校庭が、町の落ち着いた空間の創出に貢献している。

S 西



T



内藤町

新宿御苑東側に位置し、御苑を背景としたみどり豊かな住宅地である。外苑西通りに面しているものの、落ち着いた良好な住宅地を形成している。

F

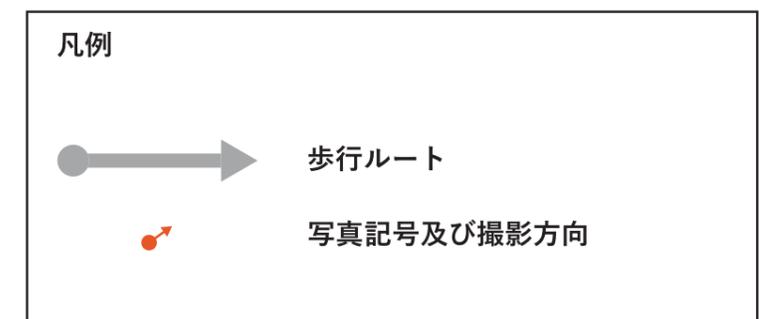
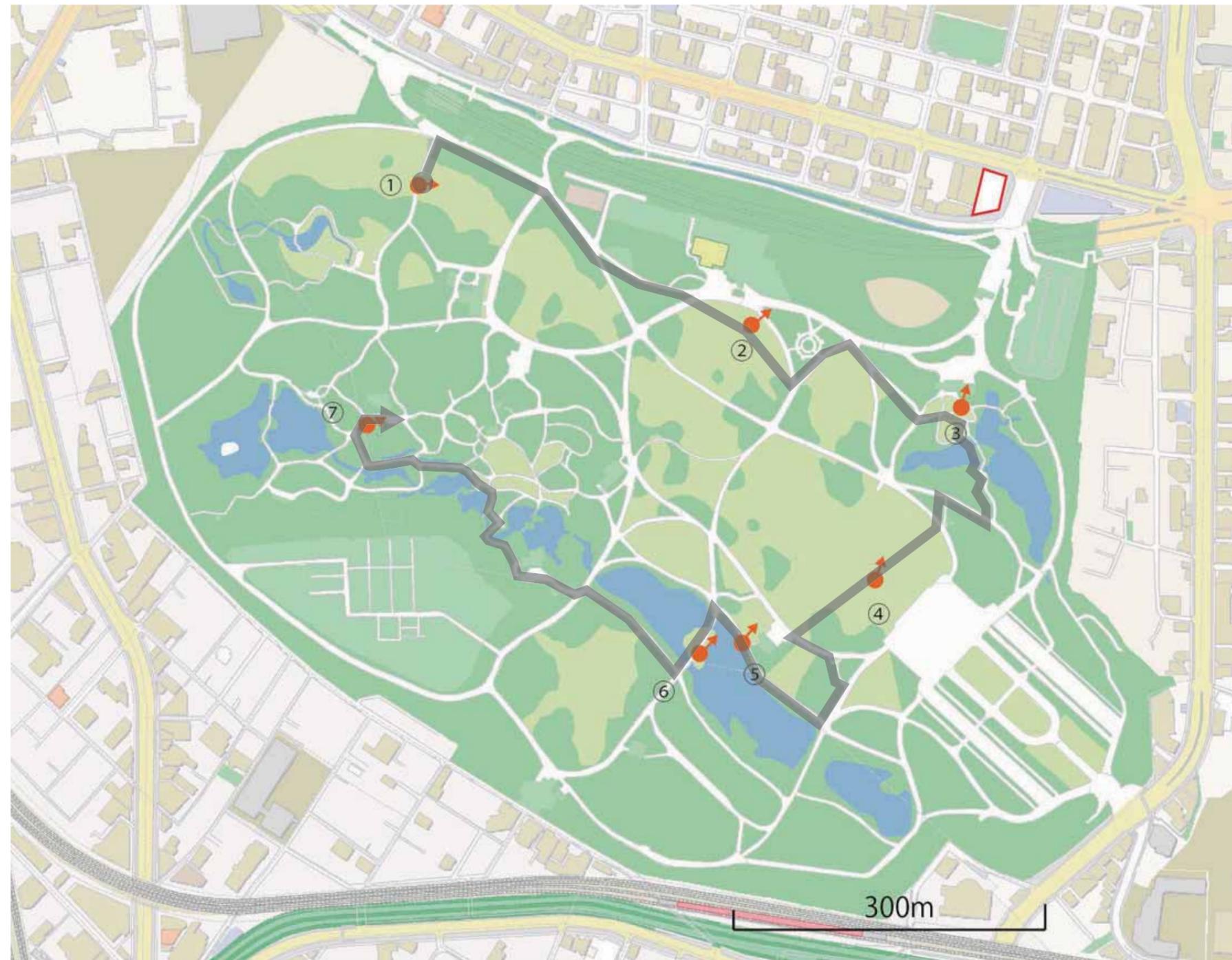


新宿御苑北側の境界

新宿御苑北側は新宿通り沿いの高層建物の裏側となるため、人通りは少なく、町としての賑わいはないが、一方で御苑のみどりが道路まで溢れ出す、みどり豊かな落ち着いた空間となっている。

03 | 景観特性

景観形成基準措置状況説明書（新宿御苑内の主要な眺望点からの見え方）



03 | 景観特性

①



新宿御苑指定地点
新宿門直近の広場から望む地点である。北側に面しているため、樹木の間から一部新宿通り沿いの高層建物が見えるが、計画地は望めない。

②



新宿御苑指定地点
北側園路付近から北側を望む地点である。園路沿いは樹木が少なくなるため、北側の新宿通り沿いの高層建物や計画地が見える。

③



新宿御苑指定地点
玉藻池に臨む大木戸休憩所の地点である。休憩者は池に面するため、北側の高層建物は見えない。

④



新宿御苑指定地点
風景式庭園の芝生広場から北側を望む地点である。左側に富久町の高層住宅、右側の四谷の高層住宅が見えるが、計画地は見えない。

⑤



新宿御苑指定地点
レストハウス裏側の中の池を臨むベンチのから北側を望む地点である。北側は丘陵地となっているため、計画地は見えない。

⑥



新宿御苑指定地点
中の池に掛かる橋上から北側を望む地点である。豊富な樹木等により計画地は見えない。

⑦



新宿御苑指定地点
茶室楽羽亭前から北側を望む地点である。豊富な樹木等により計画地は見えない。

04 | 上位計画

(1) 新宿区都市マスタープラン（四谷地域）

景観まちづくりの方針

- ・明治神宮聖徳記念絵画館等の歴史的建造物を中心とした眺望景観や新宿御苑からの良好な眺望景観を保全します。
- ・新宿通りにみどりあふれる快適な歩行者空間の創出や沿道建物等の景観誘導を行い、賑わいと魅力あふれる沿道景観を形成します。

四谷地域まちづくり方針

地域の将来像

- ・歴史と文化の香りあふれ、多くの人々が集う夢のまち

地域のまちづくり方針

- ・土地利用・市街地整備
四谷地域の拠点の整備を進めます。住機能と業務商業機能の調和を図ります。住宅地の修復型のまちづくりを進めます。
- ・道路・交通
幹線道路における歩行者空間の整備を進めます。
- ・安全・安心まちづくり
まちの防災性の向上を図ります。
- ・みどり・公園
水とみどりのネットワークの形成を図ります。
- ・都市アメニティ
歴史的・文化的資源を活かしたまちづくりを推進します。

4 四谷地域まちづくり方針図



(2) 新宿区景観まちづくり計画 『新宿御苑みどりと眺望保全地区』の景観形成方針

『新宿御苑みどりと眺望保全地区』の景観形成方針

新宿御苑みどりと眺望保全地区には、新宿御苑のみどりと一体となった良好な住宅地である内藤町があります。この住環境とみどりを保全するため、「内藤町まちづくり憲章」を定め、平成13年には、内藤町地区計画が策定されるなど、住民主体のまちづくりを進めています。新宿御苑からの眺望の保全（「II 広域的な景観形成」）とあわせて、以下に示す方針に基づき景観の形成を推進します。

①新宿御苑内からの眺望を阻害しない周辺景観の誘導

新宿御苑の内部から見える建築物等を対象として、その配置や色彩などを適切に誘導し、新宿御苑の持つ歴史的・文化的景観を保全・継承します。

②屋外広告物の規制による景観保全

新宿御苑の内部から見える箇所に屋外広告物を表示することを規制し、新宿御苑の持つ歴史的・文化的景観を保全・継承します。

③内藤町のみどり豊かで良好な住環境を維持する

内藤町（内藤町地区地区計画の区域に限る。）では、現存の屋敷林や植栽、生垣を守り育てるとともに、みどりと調和した色彩や素材、壁面の位置等を適切に誘導し、新宿御苑と隣接したみどり豊かで潤いのあるまちなみを将来にわたって継承します。

(3) 新宿区景観ガイドライン（1-9 内藤新宿エリア、1-10 新宿御苑・内藤町エリア）

1-9 内藤新宿エリア

江戸時代には、宿場町「内藤新宿」が立地していました。現在は新宿通りを中心に業務・商業・居住機能が混在しています。戦後に、戦災復興区画整理事業が実施されたため、整った道路基盤となっています。新宿駅に近い西側は商業施設が多く、賑わいあふれるまちなみに、また、四谷方面の東側は住宅が多く、落ち着いたまちなみとなっています。

景観形成の方針

- 賑わいと風格のある新宿通りの沿道景観をつくる
 - 景観形成の考え方
新宿の賑わい交流の骨格である新宿通りと沿道建築物とが調和した、賑わいと風格のある新宿通り沿道の景観形成を図る。
 - 具体的な方策
スカイラインの連続性に配慮する
壁面線の連続性に配慮する
壁面の分節化を図り、長大な壁とならないよう配慮する
軒線の連続性に配慮する
屋上広告物は、設置しないようにするが、建築物と一体的に計画し、周囲からの見え方に配慮する
- 整った道路基盤による整然としたまちなみをつくる
 - 景観形成の考え方
区画整理による整った道路基盤をいかし、整然としたまちなみをつくる。
 - 具体的な方策
壁面線の連続性に配慮する / 後述の場合は、照明や植栽帯により既存の壁面線を継承する
壁面の分節化を図り、長大な壁とならないよう配慮する
- コーナー部分をいかした魅力的なまちかどをつくる
 - 景観形成の考え方
区画整理により生じた比較的大きなすみ切り部分をいかし、建築物の形態意匠を工夫し魅力的なまちかどを創出する。
 - 具体的な方策
コーナー部に面した場所には、エントランス等開口部を設ける
コーナー部に面した建築物の各面は、調和した意匠とする

1-10 新宿御苑・内藤町エリア

江戸時代には高遠藩内藤家の下屋敷がありました。明治時代に以降に、その大部分は宮内省の管理となり、新宿御苑として整備されました。新宿御苑内からのみどりに囲まれた眺めや、周囲から新宿御苑のみどりへの眺めなど、新宿御苑のみどりは貴重な景観資源となっています。また、屋敷地の一部は内藤町となり、みどりの多い良好な住宅地となっています。

景観形成の方針

- 新宿御苑からの眺めを保全する
 - 景観形成の考え方
新宿御苑周辺の建築物や工物は新宿御苑からの眺めに配慮したものとし、みどりで囲まれた景観を保全する。
 - 具体的な方策
新宿御苑内の眺望点や各視点場からの眺めに配慮した形態意匠とする
新宿御苑から見える建築物や工物の色彩は、みどりと調和した落ち着いたものとし、特に、彩度の高いものは避ける
新宿御苑から見える範囲に、屋上広告物を設置しない
- 新宿御苑と調和した周辺の景観をつくる
 - 景観形成の考え方
新宿御苑北側の通りを、新宿御苑と調和したまちなみとする。
 - 具体的な方策
素材や色彩はみどりと調和した落ち着いたものとする
新宿御苑からの連続性に配慮した緑化を行う
- 内藤町のみどり豊かで良好な住環境を維持する
 - 景観形成の考え方
新宿御苑と隣接した、みどり豊かで潤いのあるまちなみを将来に渡って継承する。
 - 具体的な方策
既存樹木を保全する
新宿御苑への眺めに配慮した配置とする
外苑西通り沿道では後背の住宅地側に空地をとり積極的に緑化する
色彩や素材はみどりと調和した落ち着いたものとする

1-9 内藤新宿エリア

新宿通り沿道の建築物の形態意匠の調和を図るとともに、区画整理された場所における、賑わいと住心地の調和したまちなみを創出する。

景観形成の方針

- 賑わいと風格のある新宿通りの沿道景観をつくる
 - 景観形成の考え方
新宿の賑わい交流の骨格である新宿通りと沿道建築物とが調和した、賑わいと風格のある新宿通り沿道の景観形成を図る。
 - 具体的な方策
スカイラインの連続性に配慮する
壁面線の連続性に配慮する
壁面の分節化を図り、長大な壁とならないよう配慮する
軒線の連続性に配慮する
屋上広告物は、設置しないようにするが、建築物と一体的に計画し、周囲からの見え方に配慮する
- 整った道路基盤による整然としたまちなみをつくる
 - 景観形成の考え方
区画整理による整った道路基盤をいかし、整然としたまちなみをつくる。
 - 具体的な方策
壁面線の連続性に配慮する / 後述の場合は、照明や植栽帯により既存の壁面線を継承する
壁面の分節化を図り、長大な壁とならないよう配慮する
- コーナー部分をいかした魅力的なまちかどをつくる
 - 景観形成の考え方
区画整理により生じた比較的大きなすみ切り部分をいかし、建築物の形態意匠を工夫し魅力的なまちかどを創出する。
 - 具体的な方策
コーナー部に面した場所には、エントランス等開口部を設ける
コーナー部に面した建築物の各面は、調和した意匠とする

1-10 新宿御苑・内藤町エリア

新宿御苑内からの眺望景観を保全するとともに、新宿御苑に隣接する道路や内藤町ではみどり豊かな景観の形成を図る。

景観形成の方針

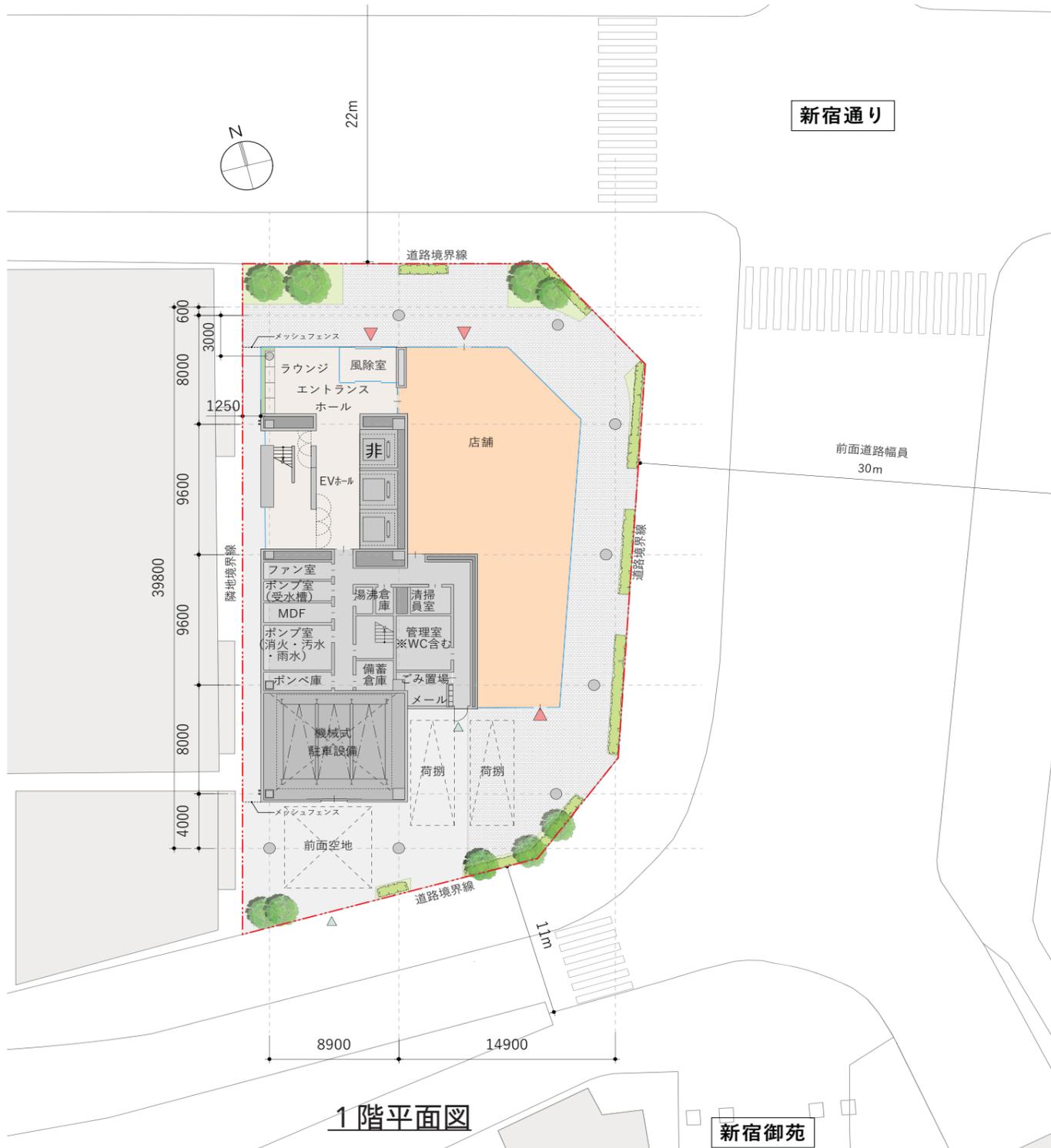
- 新宿御苑からの眺めを保全する
 - 景観形成の考え方
新宿御苑周辺の建築物や工物は新宿御苑からの眺めに配慮したものとし、みどりで囲まれた景観を保全する。
 - 具体的な方策
新宿御苑内の眺望点や各視点場からの眺めに配慮した形態意匠とする
新宿御苑から見える建築物や工物の色彩は、みどりと調和した落ち着いたものとし、特に、彩度の高いものは避ける
新宿御苑から見える範囲に、屋上広告物を設置しない
- 新宿御苑と調和した周辺の景観をつくる
 - 景観形成の考え方
新宿御苑北側の通りを、新宿御苑と調和したまちなみとする。
 - 具体的な方策
素材や色彩はみどりと調和した落ち着いたものとする
新宿御苑からの連続性に配慮した緑化を行う
- 内藤町のみどり豊かで良好な住環境を維持する
 - 景観形成の考え方
新宿御苑と隣接した、みどり豊かで潤いのあるまちなみを将来に渡って継承する。
 - 具体的な方策
既存樹木を保全する
新宿御苑への眺めに配慮した配置とする
外苑西通り沿道では後背の住宅地側に空地をとり積極的に緑化する
色彩や素材はみどりと調和した落ち着いたものとする

今後の行政等の協議により変更となる場合がございます。

05 | 計画概要

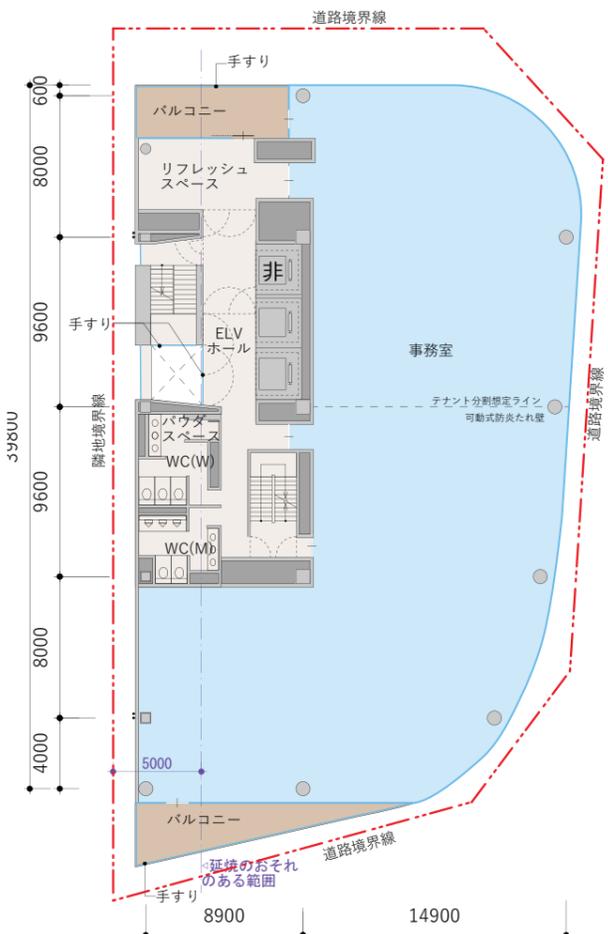
計画名称：(仮称)新宿一丁目計画
 敷地面積：1,183.06㎡
 計画地：東京都新宿区新宿1丁目1番地
 建築面積：約980㎡
 延床面積：約9,528㎡

高さ：約48.40m
 階数：11階建
 用途：事務所、店舗
 着工：2026年2月
 竣工：2028年2月

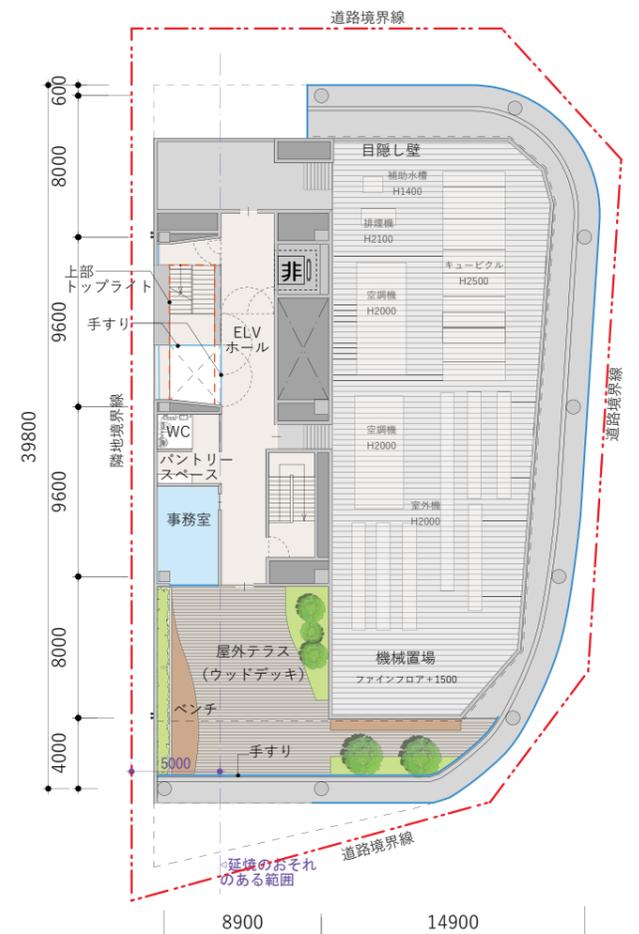


1階平面図

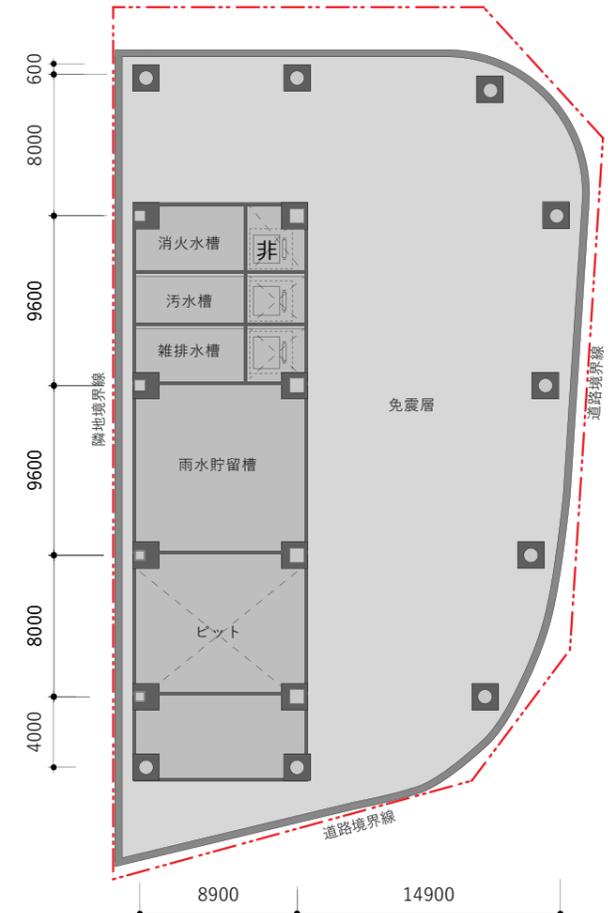
新宿御苑



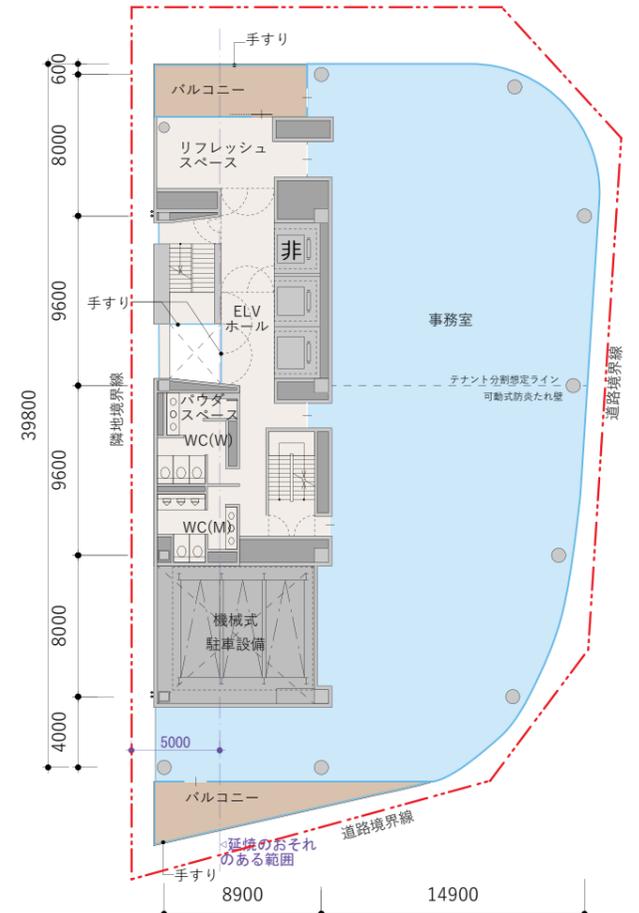
8~10階平面図



11階平面図

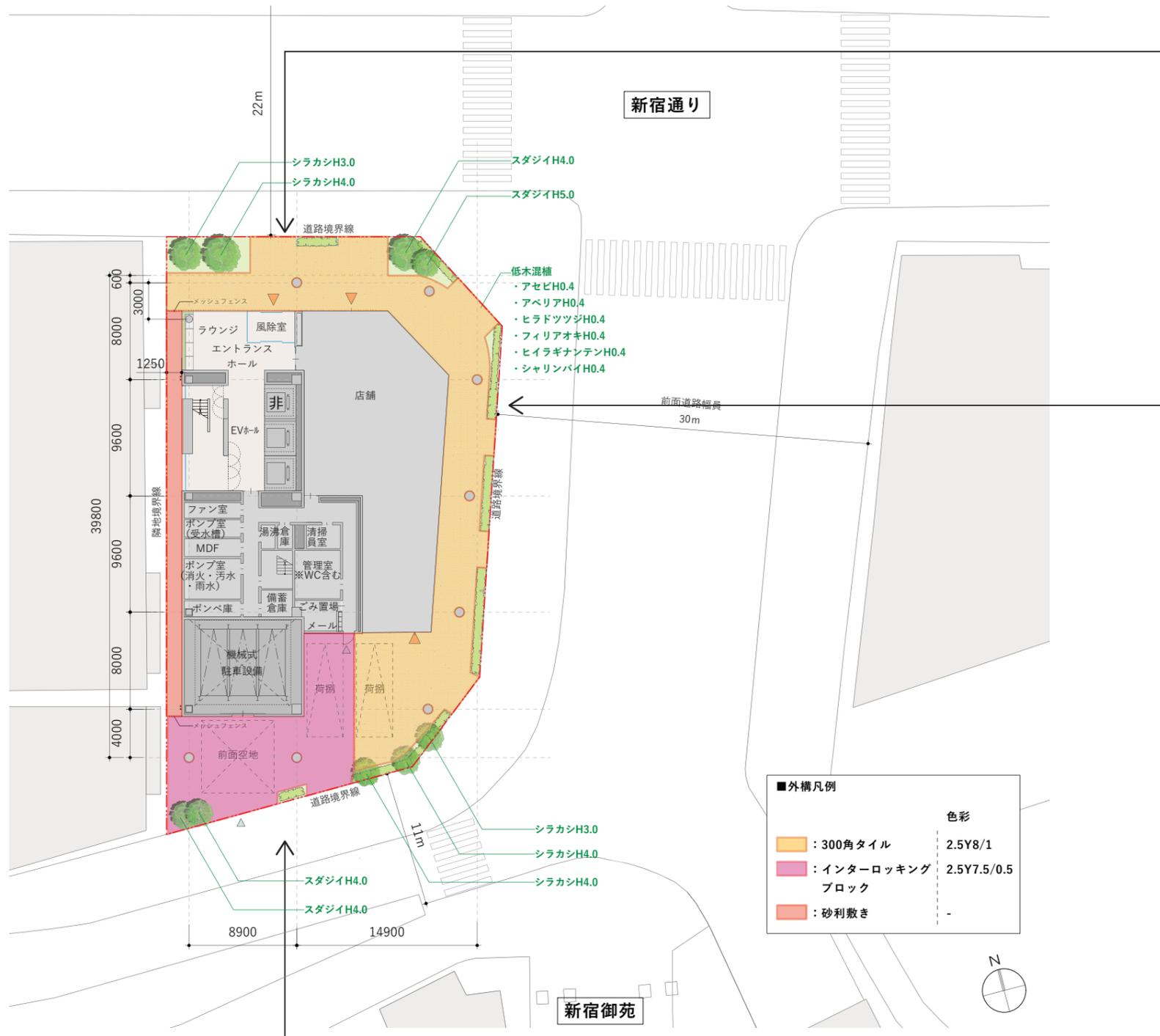


地下ピット図



2~7階平面図

今後の行政等の協議により変更となる場合がございます。



形態・意匠

- ・新宿通り沿いの沿道景観に配慮し、隣接する建築物との壁面の位置を極力揃える計画とする。
- ・また、新宿御苑側に緑地を確保するとともに1F部分をピロティとすることで、人々の停滞する空間を設ける。

形態・意匠

- ・周辺の緑や空の映り込みによる調和を意図し、周囲を柔らかく反射する素材を用いることで、緩やかに変化する街並みや自然を取り込む。
- ・建築物の色彩は、色彩基準に適合するとともに、周辺の既存建物や周辺の緑ともなじむガラスと彩度を抑えたライトシルバー系（N7.0程度）の色彩を中心としたものとする事で周辺景観や建築物との調和を図る。

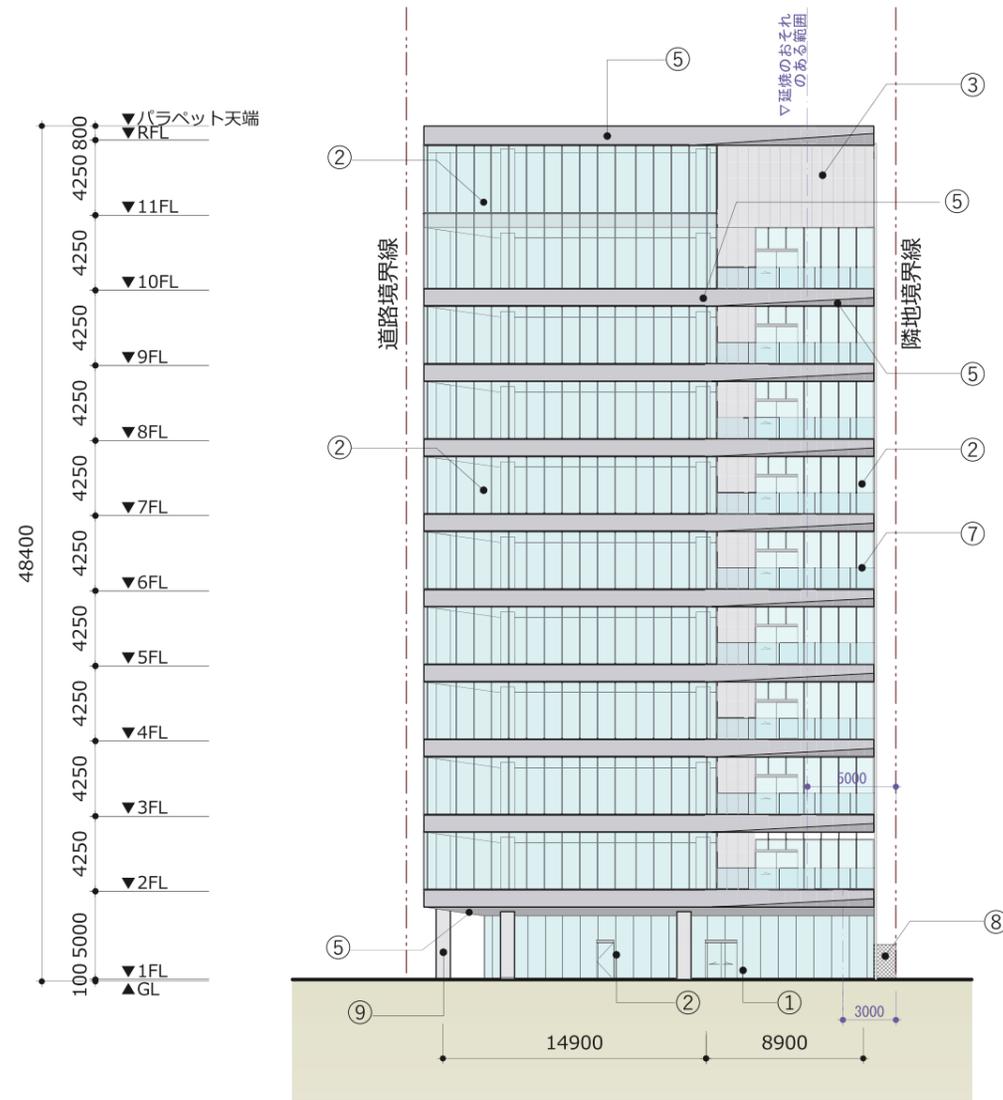
その他

- ・植栽する樹種は、新宿御苑の樹種や「東京都在来種選定ガイドライン」を参考に新宿御苑の樹木と統一感のある樹種を選定する。また、屋上には屋外テラスを設け、立体的な緑の連続性を創出する。
- ・建築物はバルコニーにより水平にボリュームを分節するなど圧迫感の軽減を図る。新宿通り東側はゆるやかな曲線形の建物形状とすることで、新宿駅方面への入り口として軽やかで落ち着いたある外観とする。

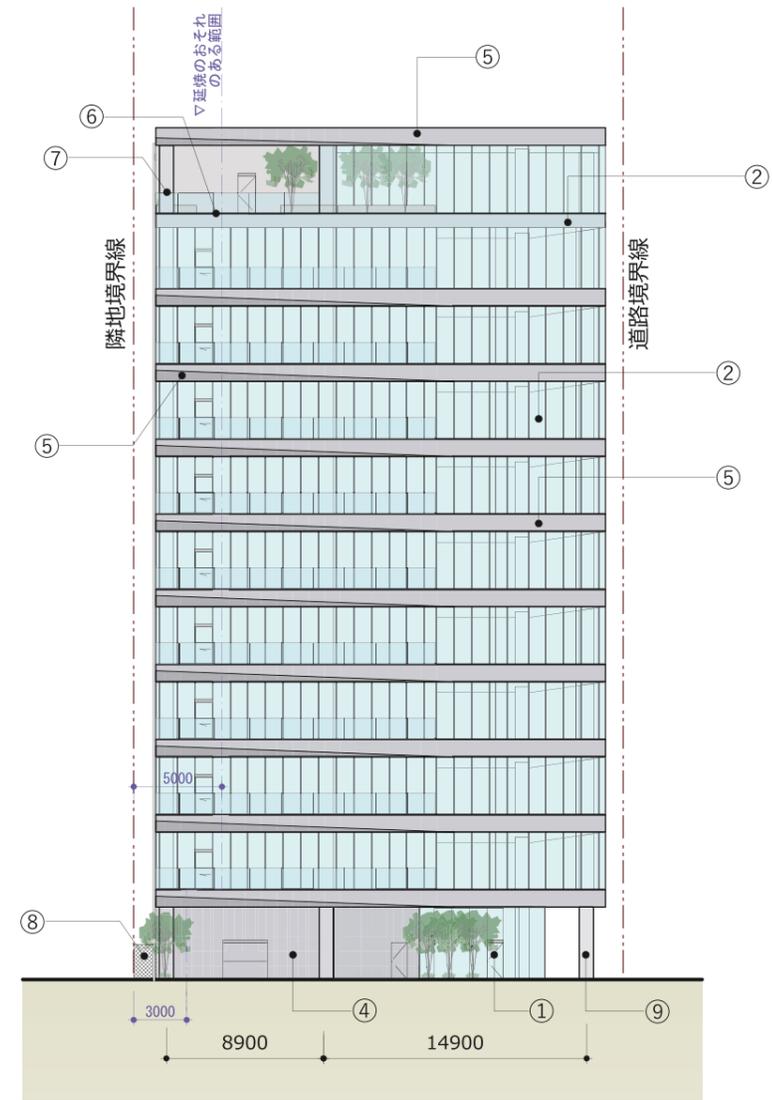
形態・意匠

- ・新宿御苑側には屋上緑化や柔らかく周囲を反射する素材を用いた庇を設け、御苑の豊かな緑を引き込む計画とする。
- ・駐車場は機械式立体駐車場とし、建物内に収めて一体化することで周囲からの見え方に配慮する。また、駐車場出入口や荷さばき出入口は、可能な限り新宿御苑からの視線に配慮し緑地等を配置する。

各色面積	
透明ガラス	3,590㎡
N8.5	1,730㎡
N7.1程度	1,090㎡
N7.0	60㎡
合計面積	6,470㎡



北面立面図



南面立面図

①	ステンレスサッシ ※オートドア部のみ		⑥	アルミ笠木+2.0曲げ フッ素樹脂焼付塗装	N8.0
②	アルミサッシ 電解2次着色(Low-E複層ガラス) 一部防火設備(網入りガラス)	透明ガラス	⑦	手摺 ガラス手すり H1400	透明ガラス
③	押出成形セメント板 フッ素樹脂塗装	N8.5	⑧	アルミフェンス H2000	
④	押出成形セメント板 フッ素樹脂塗装	N7.0	⑨	柱 耐火塗装	N8.5
⑤	外装パネル 光輝アルミ合金パネル	N7.1程度	※屋上 アスファルト防水 押えコンクリート (屋上テラス/各階バルコニーは人工木デッキ貼り)		

06 | 景観形成の基本方針

各色面積	
透明ガラス	3,590㎡
N8.5	1,730㎡
N7.1程度	1,090㎡
N7.0	60㎡
合計面積	6,470㎡



西面立面図

東面立面図

①	ステンレスサッシ ※オートドア部のみ		⑥	アルミ笠木+2.0曲げ フッ素樹脂焼付塗装	N8.0
②	アルミサッシ 電解2次着色(Low-E複層ガラス) 一部防火設備(網入りガラス)	透明ガラス	⑦	手摺 ガラス手すり H1400	透明ガラス
③	押出成形セメント板 フッ素樹脂塗装	N8.5	⑧	アルミフェンス H2000	
④	押出成形セメント板 フッ素樹脂塗装	N7.0	⑨	柱 耐火塗装	N8.5
⑤	外装パネル 光輝アルミ合金パネル	N7.1程度	※屋上 アスファルト防水 押えコンクリート (屋上テラス/各階バルコニーは人工木デッキ貼り)		

今後の行政等の協議により変更となる場合がございます。



赤矢印はパース・アングル方向を示す。



赤矢印はパース・アングル方向を示す。

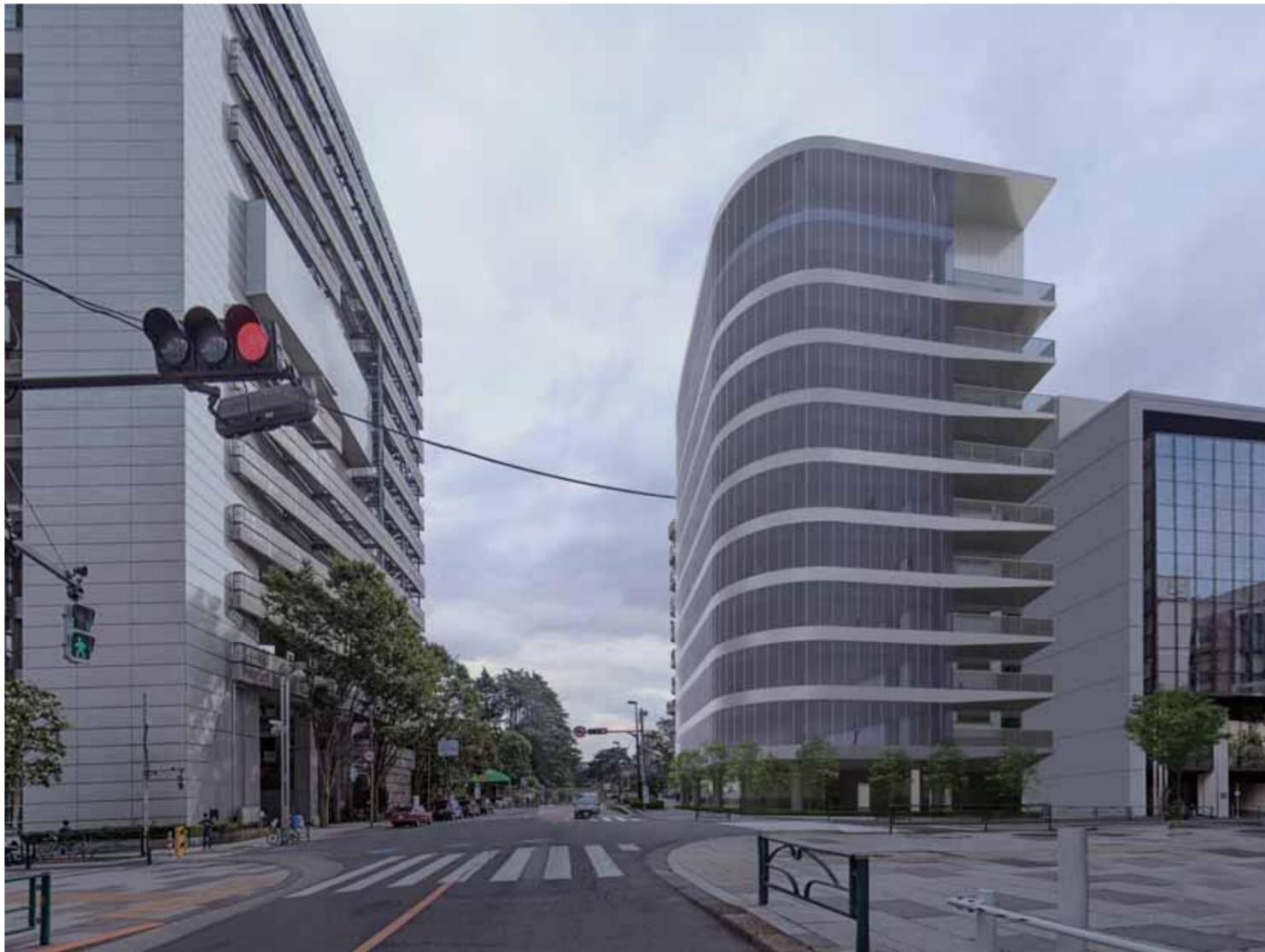
今後の行政等の協議により変更となる場合がございます。



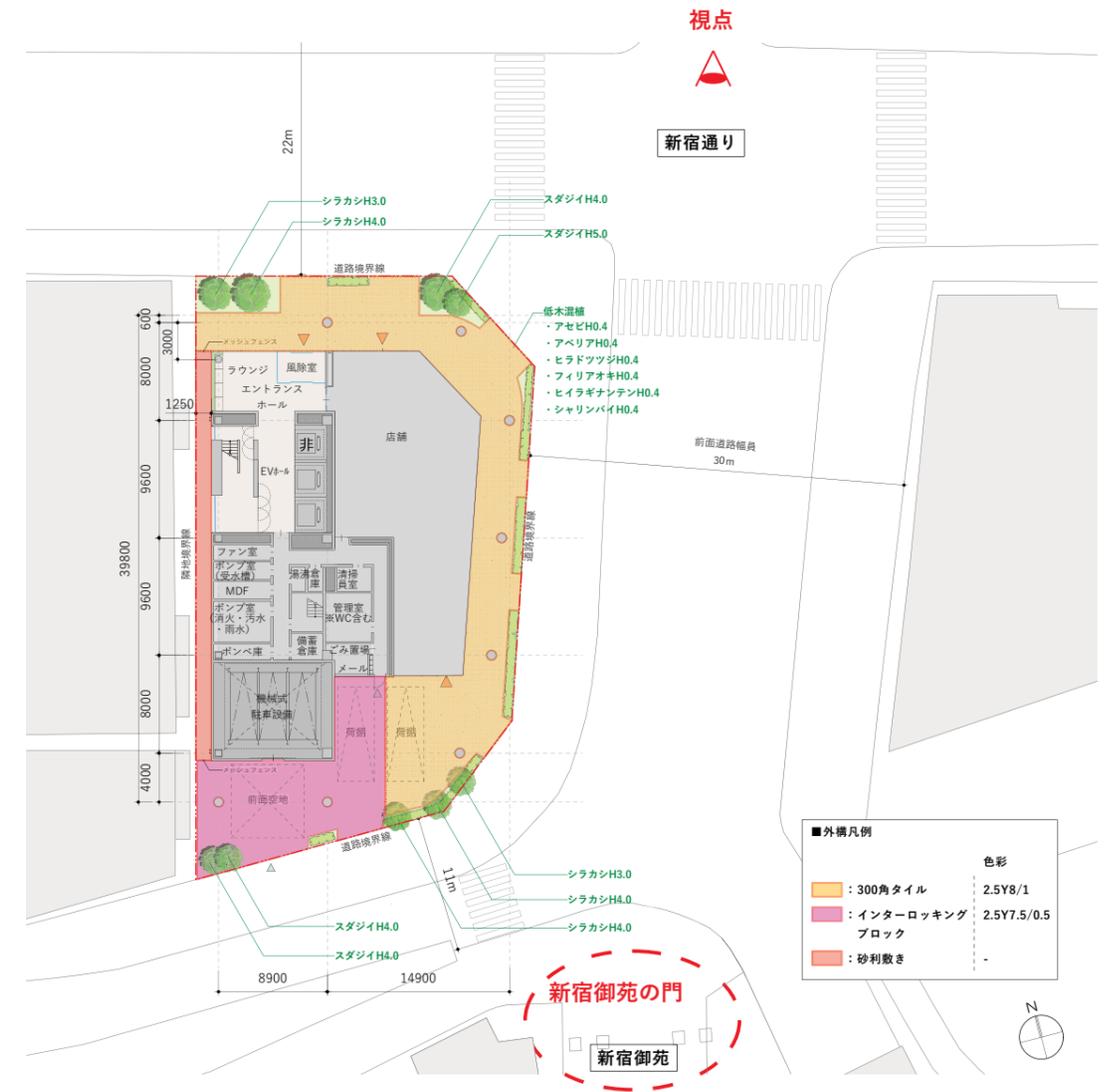
赤矢印はパース・アングル方向を示す。



赤矢印はパース・アングル方向を示す。



計画建物北側 新宿御苑の門をメインとしたイメージパース



・御苑の大木戸門入口へ続く道であり、隣接する四谷出張所と並び御苑へのゲートの役割も持っている。計画建物低層部には若干の緑も見えるが、両建物を入れ大木戸門入口方面へのグランドレベルの近景を確認。

・ピロティ部の植栽については、横断を妨げず、歩道と一体的に広い空間を感じられるような計画を検討する。

07 | 事前相談・事前説明・追加検討事項

令和4年7月から計4回の対面協議を実施しました。協議では外装材サンプルの確認も行いました。

■ 景観まちづくり相談員の主なご意見

発言者（敬称省略）	ご意見要約
<p>新宿区景観まちづくり相談員 神谷 博</p>	<p>① 明るい部分と暗い部分で見え方は異なるため、光輝合金パネルの見え方を現地調査をされたい。 ② 周辺建物との調和を考慮し、隣の建物の外壁色のマンセル値を現地調査されたい。 ③ アルミが反射により光るため、マットな仕上げ（パネル塗装仕上げ）の検討されたい。</p>
<p>新宿区まちづくり審議会委員 新宿区景観まちづくり相談員 吉田 慎悟</p>	<p>① 一般的に高い反射率の外装材や、高明度の色の使用を控えることが有利 ② 反射率を下げる表面加工や壁面色の明度を少し抑える等の工夫ができないか検討</p>



アルミ光輝合金発色

景観まちづくり相談員の助言を参考に、少しY系色の入ったパネルで、光沢はできる限り落としたパネルを選定します。

光沢度の高い特殊アルミ材である光輝アルミ合金を使用するアルマイト処理は、通常のアルミ材にはない光沢感を演出可能。

電解研磨と組み合わせることで、「**淡く柔らかい映り込み**」を実現できる光輝合金発色。ステンレスの鏡面仕上げとは異なる優しい雰囲気、周りの景観と溶け込む。

電解研磨を調整することで光沢度の違う仕上がりが可能。

意匠性や周辺状況に応じて、**光沢度をコントロール**する予定です。

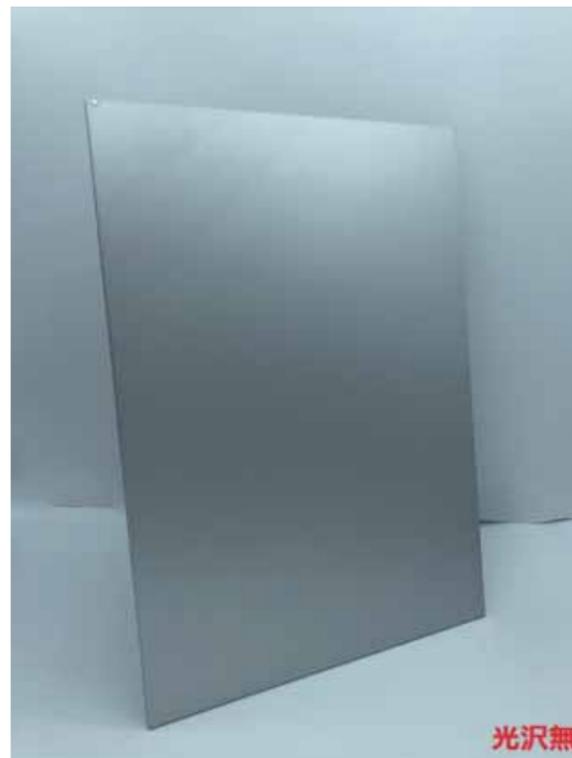
光沢無 から研磨

(反射率目安)※1

※研磨レベルを落とし、光沢をさらに低くする方向で調整予定

▼サンプルパネル

軒天の色彩や反射光については、光輝合金パネルの反射率を上げることで新宿御苑側の緑を取り込む計画とします。



光沢無



光沢弱



光沢中



光沢強

パネル写真出典：<https://www.kikukawa.com/studiok/bright-dip-anodized/>

07 | 事前相談・事前説明・追加検討事項



南側測定点遠景

〈撮影データ〉

撮影日：2022年11月25日 AM11:30～12:00の間

天候：晴れ

使用機器：SONY α7C

現地調査による光輝合金パネルのマンセル値定義
N7.1程度 (N8.7～N5.5の幅)

		測定点A		測定点B	
測定点高さ		GL+1.8m 見上げ N8.7～N5.5	GL+1.5m アイレベル N7.7～N5.5	GL+1.8m 見上げ N8～N5.5	GL+1.5m アイレベル N8～N5.5
使用色票					

07 | 事前相談・事前説明・追加検討事項

南側道路



(低層部のみ測定。上部の外壁色は特定出来ず。)



北側道路



南側隣地建物



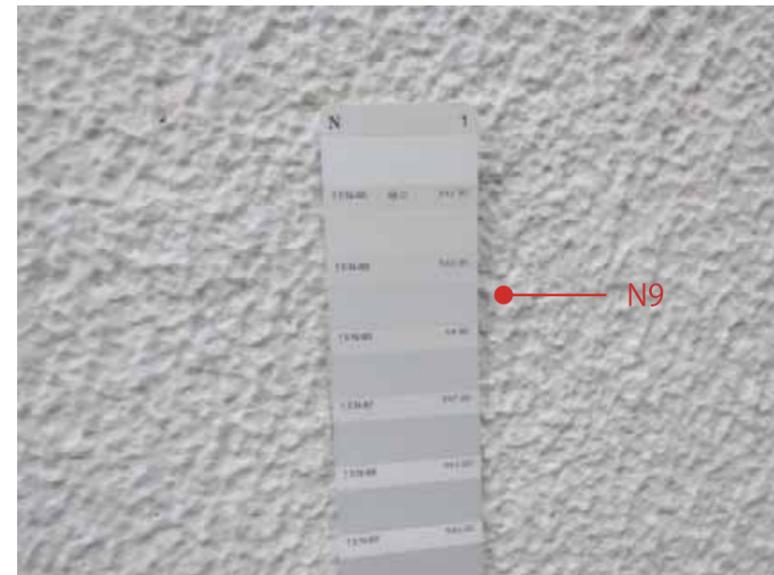
測定点Cの拡大 7.5Y3/1

Y	35
↑ E27-90B	7.5Y9/1 (G)
↑ E27-85B	7.5Y8.5/1 (G)
↑ E27-80B	7.5Y8/1 (G)
↑ E27-70D	7.5Y7/2 (G)
↑ E27-60D	7.5Y6/2 (G)
↑ E27-50D	7.5Y5/2 (G)
↑ E27-40D	7.5Y4/2 (G)
↑ E27-30B	7.5Y3/1 (G)

マンセル値で発注しないようお願いします。

7.5Y3/1

北側隣地建物



測定点Dの拡大 N9

N	1
↑ EN-95	N9.5 (G)
↑ EN-93	N9.3 (G)
↑ EN-90	N9 (G)
↑ EN-87	N8.7 (G)
↑ EN-85	N8.5 (G)
↑ EN-82	N8.2 (G)
↑ EN-80	N8 (G)
↑ EN-77	N7.7 (G)

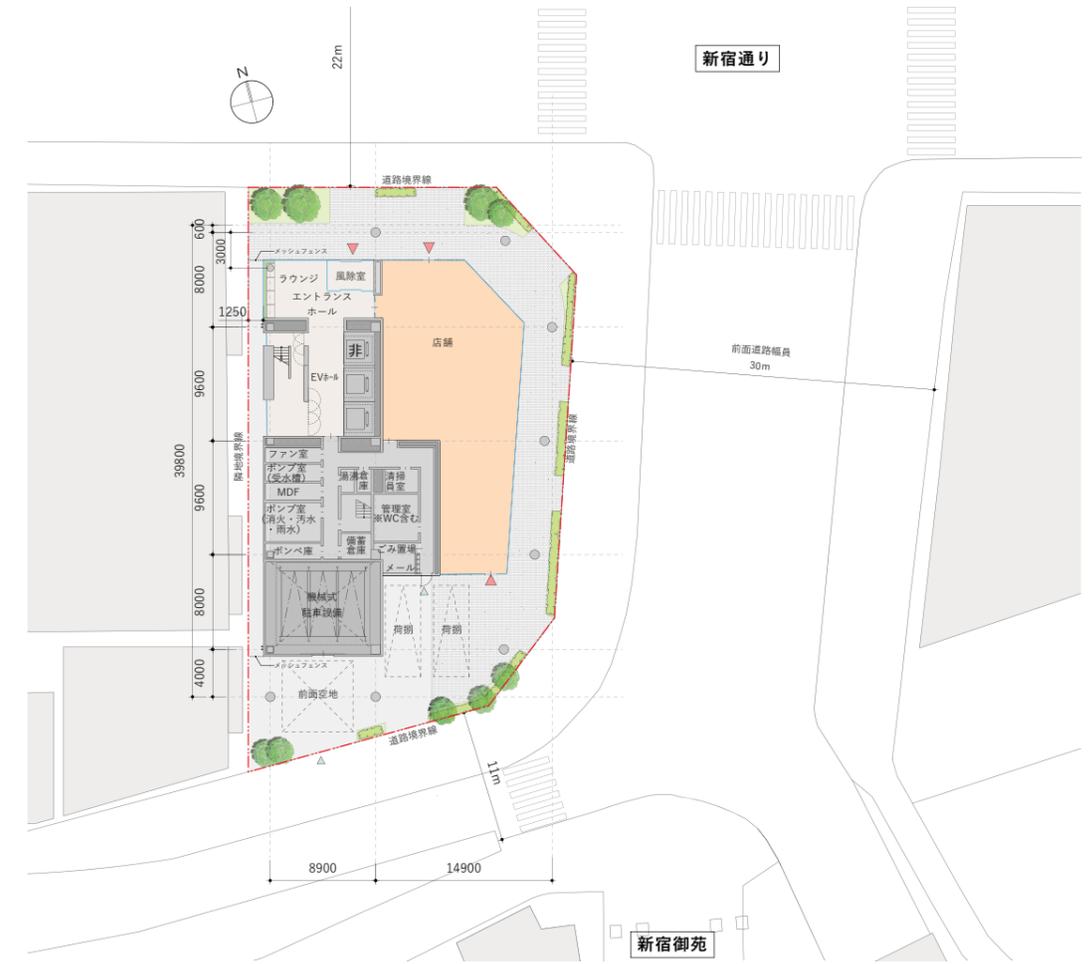
マンセル値で発注しないようお願いします。

N9

光輝合金アルミパネル



スパンドレル部を「光輝合金アルミパネル」で構成。
時間帯によっては見え方（色）が異なるため、N7.1程度（N8.7～N5.5の間）を想定し、光輝合金アルミパネルの見え方検証を行った。



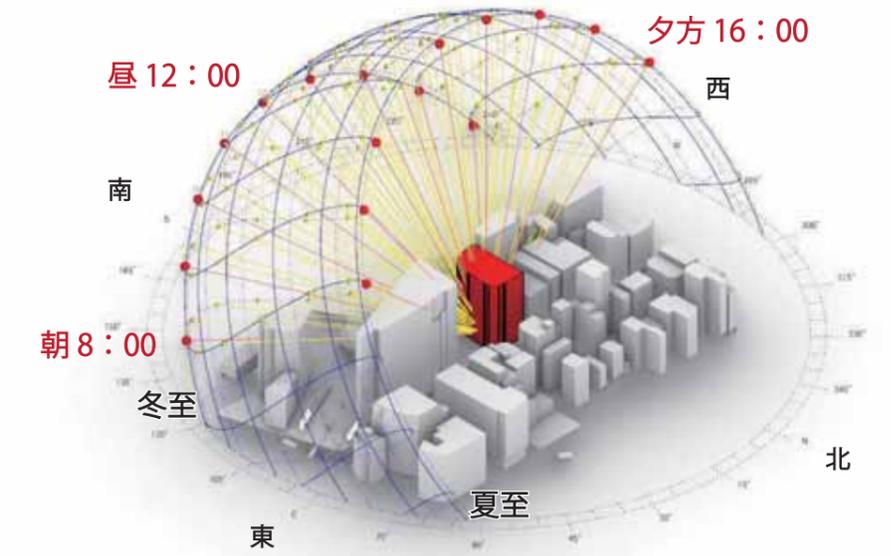
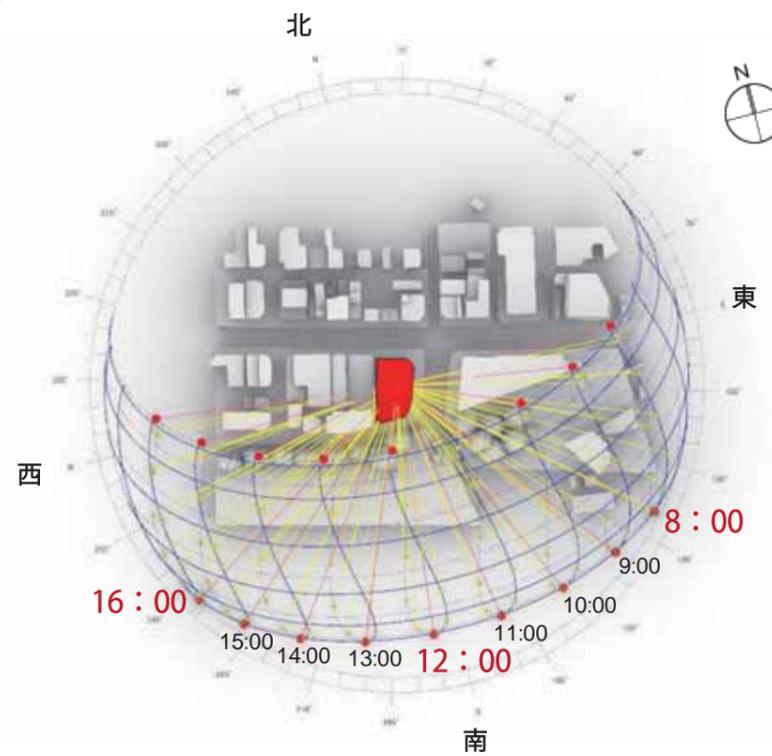
現地調査による
光輝合金パネルの
マンセル値定義
N7.1程度
(N8.7～N5.5の幅)

GL+1.8m

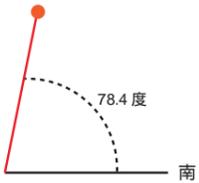
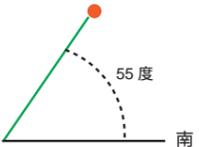
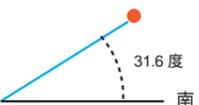
GL+1.8m

〈撮影データ〉
撮影日：2022年11月25日
AM11:30～12:00
天候：晴れ
使用機器：SONY a7C

現地調査による光輝合金パネルのマンセル値定義
N7.1程度（N8.7～N5.5）の幅を採用し、
（夏至、秋分、冬至、8:00、12:00、16:00）でパース検証。



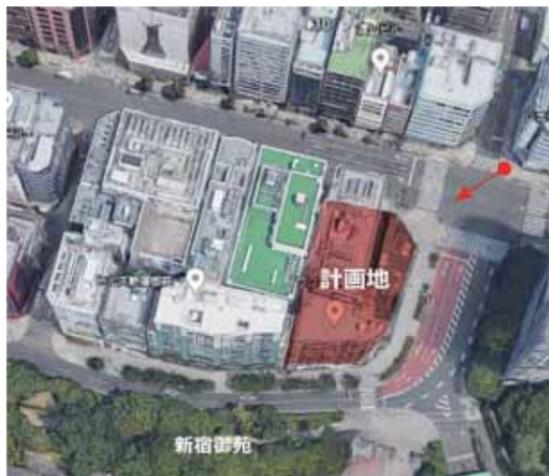
07 | 事前相談・事前説明・追加検討事項

		8 : 00	12 : 00	16 : 00	評価
夏至 6月21日					太陽高度が高いため、 昼12時の返照の割合は 少ない。
秋分 9月23日					秋分は8:00～12:00 までの時間帯で建物南東 部の返照がみられる。 朝8時が最も返照の割合 が大きい。
冬至 12月22日					冬至は12:00に建物 南東部の返照がみられる。 昼12時が最も返照の割合 が大きい。

北側隣地建物に合わせた案



南側隣地建物に合わせた案



北側隣地の建物の外壁のマンセル値：N9 に対して、明度と反射率を抑え、N8 のパネル塗装案で検討しましたが、近景から見るとスパンドレル部が際立ってしまうため不採用。

赤矢印はパース・アングル方向を示す。

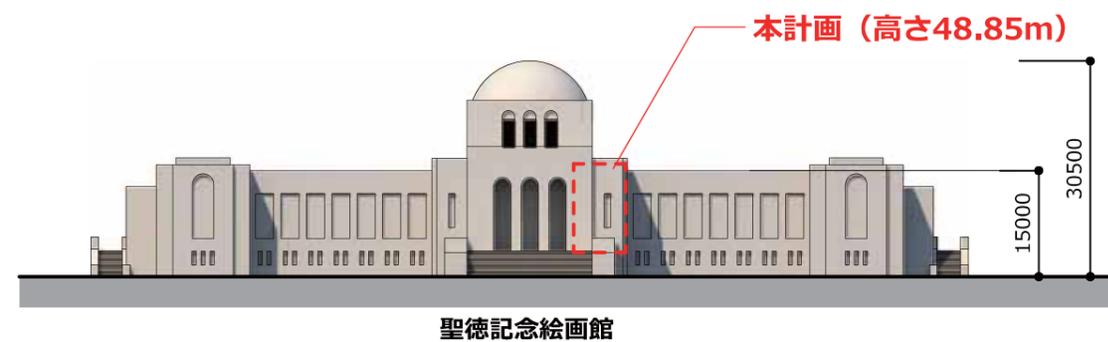
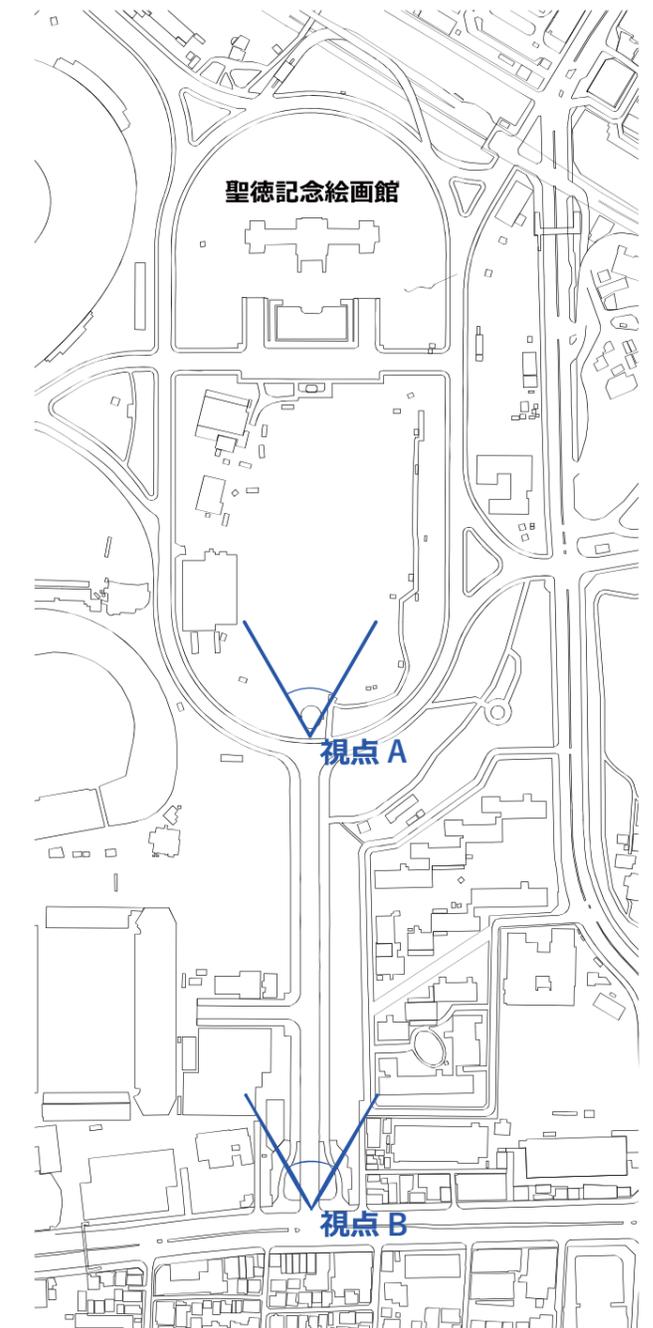


赤矢印はパース・アングル方向を示す。

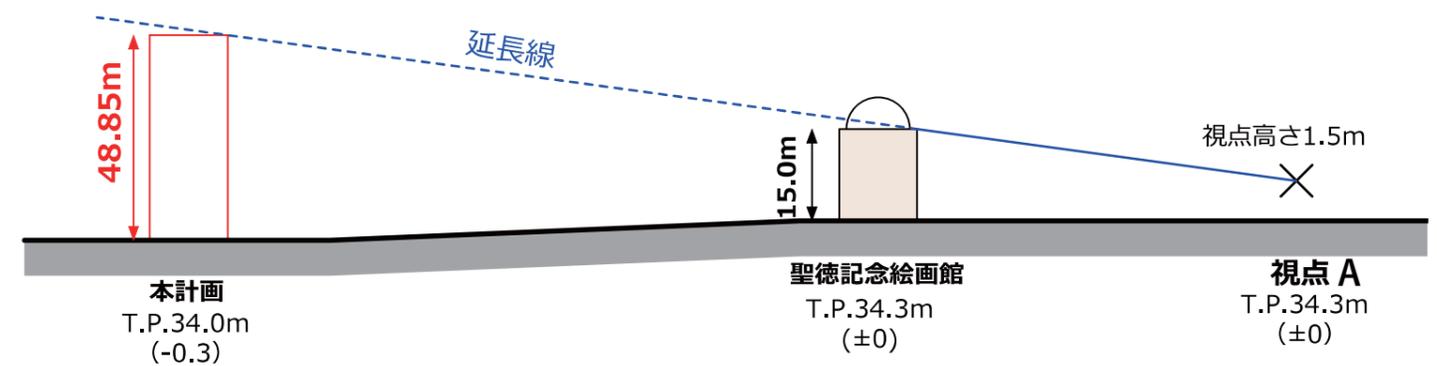
今後の行政等の協議により変更となる場合がございます。



視点A



聖徳記念絵画館



今後の行政等の協議により変更となる場合がございます。

08 | 眺望地点等からの見え方

(視点B)



現況

(視点B)



将来

(上写真の拡大)



(上写真の拡大)



今後の行政等の協議により変更となる場合がございます。

08 | 眺望地点等からの見え方

(視点B)



パネル塗装案

(上写真の拡大)



パネル塗装案の遠景での見え方は、スパンドレル部が目立つため、光輝合金パネルの採用を検討します。
今後の行政等の協議により変更となる場合がございます。

(視点B)



光輝合金パネル案

(上写真の拡大)

